

ふれあい

学校教育目標

「やさしく かしく たくましく

自分のよさを生かして

未来を創ろうとするしゃちっ子」の育成

令和6年6月7日 校長 重松 景二

愛でいっぱい、学びでいっぱい、遊びでいっぱいの学校にする
アップデートしよう（未来を創る子どもたちのために）

6月になりました 水無月と言いますが…

6月になりました。6月は子どもたちが落ち着かない月と言われています。暑くなってくることも関係しているようですが、セロトニン不足になるという説もあるようで、子どもたちの様子をいつも以上によく見ておく必要があります。6



月と言えば「梅雨」の時期でもあります。私が子どもの頃はしとしとと降る雨が何日も続くというイメージでしたが、最近は豪雨になることも多く、水害が心配です。降り過ぎず、水不足にもならずというのが理想なのですが、今年はどうでしょう。「水無月」は「水の月」という意味だそうで、プール開きや田植えなど、水に関係するものが多い月ですね。



きれいになりました おかげさまで…



28日火曜日はプール掃除がありました。プールは防火水槽でもありますので、6・7月以外の使用しない期間にずいぶん汚れてしまいます。6年生は全校を代表してみんなのためにする仕事があります。このプール掃除もそのうちのひとつです。汚れたプールを一人



一人が自分の役割を果たし、一生懸命にきれいにしていました。午前中は雨が降っており心配しましたが、午後は晴れてプール掃除日和になりました。天気も味方にするなんて、さすが6年生です。大プールも小プールも、頼もしい6年生の働きによってとてもきれいなプールに生まれ変わりました。1か月ちょっとの水泳の学習ですが、楽しみながら学習している子どもたちの歓声を聞くのが楽しみです。

いっぱいいるいる 宝庫とはこのことで…



プール掃除の前日、何やらわいわい言っている声が聞こえてきました。3階の廊下の窓から見てみると、少々汚れた水に浸かり、網を持って何かをすくっている子どもたちがいました。2年生の生活科の学習でした。プール掃除前の水は水中生物がたくさんいます。最も多いのはヤゴでしょうか。ゲンゴロウやミズカマキリなんかもいます。安全なプールで、たくさんの水中生物に出合えるなんて、なかなかない学校ならではの環境です。子どもたちが楽しそうに捕まえている姿が印象的でした。後日、ある子は、持って帰ったヤゴがトンボになったと嬉しそうに話していました。印象に残る学びとなったことでしょう。



個性重視 効果はじわりと…

学校の教職員は、学級経営を基盤に学習指導、生活指導、生徒指導を行っています。附属小学校は市町の小学校と少々異なり各教員が専門の教科を担当しています。また、学級経営に関しても、学級指導・生活指導・生徒指導に関してもそれぞれがこれまでの経験を生かし、独自の方法で取組を行っています。ですから、同じ学年でも横並びの方法ばかりで進めているわけではありません。そのように教職員の個性を重視する附属小学校ですので、各学級・各教職員の取組には、ご理解とご協力をいただきたいと思います。

愛でいっぱい・学びでいっぱい、遊びでいっぱいを目指してアップデートしていくのは統一ですが。